



こどもクリニックニュース

NO. 154 平成24年11月1日発行
ともながこどもクリニック

休診の予定

年末までは、臨時の休診の予定はありません。
なお、水曜日は一日休診です。

院長の予定 (2012年12月まで)

11月	2日	(金)	3ヶ月健診	保健センター
	28日	(水)	9ヶ月健診	保健センター
12月	10日	(月)	3才健診	保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。



小児科休日診療の予定

加須市では、11月から来年3月まで、元日を除く日曜・祝日に休日診療が実施されます。12月9日までの当番は以下のとおりです。

平成24年11月

日にち	曜日	当番医
3日	(土)	中田病院
4日	(日)	加藤こどもC
11日	(日)	福島小児科医院
18日	(日)	ともながこどもC
23日	(金)	中田病院
25日	(日)	つのだ小児科医院

平成24年12月

日にち	曜日	当番医
2日	(日)	福島小児科医院
9日	(日)	中田病院

診療(受付)は9:00~12:00です。

医療機関の都合により当番が変更される場合があります。ご利用の際は、加須市の広報誌やホームページなどで、最新情報をご確認ください。

四種混合ワクチン

9月から不活化ポリオワクチンが発売され、生後3ヶ月以降の赤ちゃんに対して三種混合ワクチンとともに接種が行なわれています。

11月1日からは、この2種類のワクチンを混合して、1回の接種で済む「四種混合ワクチン」が使用できるようになりました。今年の8月以降に生まれた赤ちゃんは、このワクチン接種の対象となります。それ以前に生まれた赤ちゃんで、まだ一度も三種混合ワクチンや不活化ポリオワクチン接種を受けていない方も、この四種混合ワクチンを接種できます。

これまでに1回でも三種混合ワクチンかポリオワクチンを接種した方は、原則として四種混合ワクチンではなく、三種混合ならびに不活化ポリオワクチン接種を継続してください。

この年頃の赤ちゃんは、これ以外にもヒブや肺炎球菌ワクチン、BCG接種があり、また自費のロタウィルス、B型肝炎ワクチンもあります。混合ワクチンの開発は、赤ちゃんや保護者の方および医療機関の負担軽減となり、また接種率の向上にもつながりますので大変喜ばしいことです。



不活化ポリオワクチン やや品不足

不活化ポリオワクチンが全国的に品不足傾向となっています。9月から接種が始まり、ワクチン使用量がピークになっているのでしょう。

当院でも10月末の時点で、11月中旬以降に予約をしている方へのワクチンが、確実に確保できるめどが立っていません。極端に供給量が不足した場合は、接種時期の変更(延期)をお願いすることになるかもしれません。また今後、新規に申し込まれた方に対しては、予約待ちリストに登録し、ワクチンが確保できた時点で接種日時をご相談することといたします。

ワクチンの供給は定期的に行われているため、多少待っていただければ最終的には接種できます。日本国内でポリオが流行しているわけではありませんので、あまり心配しないでください。

インフルエンザの出席停止期間の変更

インフルエンザにかかった時、学校は出席停止になりますが、登校できる基準が以下のように変更されました。

発病後（最初の症状が出てから）5日以上経過し、さらに熱が下がって48時間（2日間）過ぎていたら登校して良い。というのが新しい基準です。

昨シーズンまでは「熱が下がって48時間（2日間）過ぎたら登校して良い」というのが、一般的な基準でした。これは何十年も前から、（タミフルやリレンザなどのインフルエンザ治療薬が開発・発売される前までの）インフルエンザの自然経過から経験的に決められていた基準です。インフルエンザという病気は、高熱が4～5日続き、ひどい咳や鼻水などを伴い、中耳炎や肺炎などをしばしば合併する怖い病気です。特効薬がなかった時代、熱が下がって2日も経てば、ほぼ回復して周りの人へうつすこともなかったのです。

最近は、急に熱が出てインフルエンザを疑ったら、ほとんどの方が遅くとも翌日までには病院を受診し、検査で確認されるはずですが、それくらいのタイミングでタミフルやリレンザなどのインフルエンザ治療薬を開始した場合、1日か2日くらいで熱が下がり、咳なども軽く済んでしまう方が多いです。しかし実は、この段階ではまだインフルエンザウイルスがたくさん生き残っていることが分かってきました。もう少し長く休まないで、学校で周囲のお友達にうつしてしまいます。

このような理由で、出席停止期間の変更がなされましたが、医師の間でも十分に知識が伝わっていないおそれもあります。今シーズンは病院や学校の間で多少の混乱があるかもしれません。

なお、幼稚園や保育園の登園許可基準は「発病後5日、解熱後3日」です。解熱後の日数に違いがありますのでお間違え無いように願います。

インフルエンザワクチン実施中です

予約制です。

土曜日午後インフルエンザ接種専用の時間帯を設定していますので、そちらを是非ご利用ください。それ以外にも、通常診療と同時に接種することも可能です。ただしいずれの場合も、接種人数に制限がありますので、早めの予約をおすすめします。

13歳未満のお子様は、2～4週間くらいの間隔での2回接種がおすすめです。（理想は4週間隔です）。

感染症の情報

朝夕は肌寒いのに天気の良い昼間は暑くなり、体調管理のむずかしい時期となりました。かぜ症状のお子様の来院が増えていますが、特に目立った感染症の流行はないようです。

RSウイルス感染症が話題になっていますが、「大流行」の状態ではないと感じています。このウイルスは、毎年冬になると全国で流行し、子どものかぜ症状を引き起こしてきました。最近話題になっている理由は、例年よりも2～3ヶ月ほど早く流行が始まったため、ピークの冬に「大流行」となる可能性があったためで、決して珍しい病気という訳ではありません。過剰なご心配は無用です。

これからさらに寒くなると、お決まりのインフルエンザの流行が気になります。10月末の時点では埼玉県内のインフルエンザの報告は増えていません。

少し気が早いですが、スギ花粉の予報

関東平野付近では、スギの花の芽は7月ころに作られるようですが、その時期の気温が高いほど、芽がたくさん出来やすいです。

今年の夏は7月も含めてずっと猛暑の連続でしたので、来年のスギ花粉はとでも多くなるという予報が出ています。おそらく予報どおりになるでしょう。敏感な方（重症の方）は年が明けたころから症状が現れるかもしれません。

さまざまな花粉対策がありますが、飲み薬による治療は早めに開始したほうが有効です。



こどもクリニックニュースの
無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともながこどもクリニック
加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150